

教育課程研究指定校事業実施計画書（令和 2 年度）
— 研究課題 1 高等学校 —

都道府県・指定都市番号	1	都道府県・指定都市名	北海道
-------------	---	------------	-----

公立・私立・国立（○で囲む）

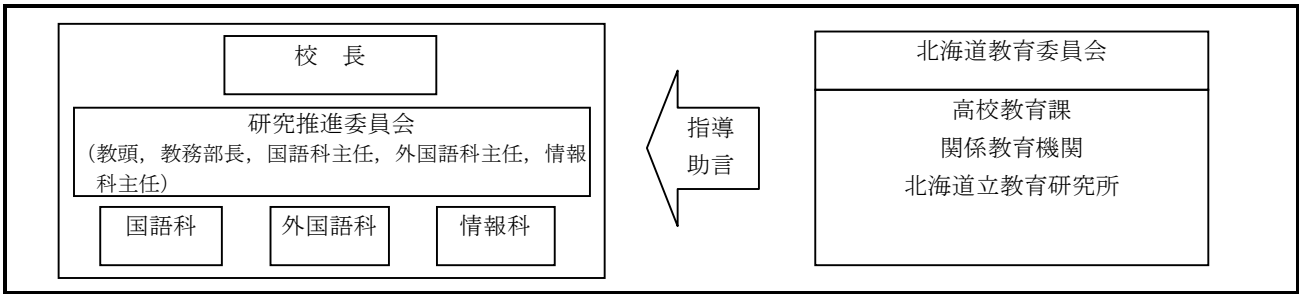
1 研究指定校の概要

ふりがな 学 校 名	ほっかいどうななえこうとうがっこう 北 海 道 七 飯 高 等 学 校					ふりがな 校長氏名	たけうち たく 竹 内 琢
所 在 地	〒041-1112 北海道亀田郡七飯町鳴川5丁目13番1号 電話 0138-65-5093 FAX 0138-65-7026 e-mail nanae-z0@hokkaido-c.ed.jp						
設置する課程 (R2.4.1 見込)	全日制課程					(R2.4.1 見込。臨時的任用の者は常勤の者のみ含む) 教員数 25名	
生 徒 数 (R2.4.1 見込)						[調査研究にかかわる教科等の教員数] 7名	
学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	計		
普通科	119	121	115		355		
特記事項							

2 研究主題等

教科等名	国語①（国語総合・1 年）	教科課題番号等	1
学校における研究主題	実社会で必要な「話すこと・聞くこと」で育成する言語能力を身に付けるための学習指導及び学習評価の在り方に関する研究。		
研究主題設定の理由	実社会において、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、他者と協働して課題を解決していくためには、コミュニケーション能力の育成が必要不可欠である。本校生徒においても、他者の話を正確に聞きとって内容を的確に理解・判断した上で、論理的に思考し表現する力を身に付けさせることが重要である。 また、「総合的な探究の時間」において、1 年生が、探究した内容を発表する場を設定しており、本研究を通して、国語科の学習で身に付けた資質・能力を他の教科の学習内容等と結び付けるなどして、これまでの取組の一層の充実を図るとともに、本研究を全校的な取組につなげていきたいと考えている。 こうしたことから、「話すこと・聞くこと」で育成する言語能力を身に付けさせる授業及び評価の改善を図り、本校生徒の確かな学力の育成と学習指導及び評価の改善に資することのねらいとして、本研究課題を設定した。		
研究の内容	(1) 意見を効果的に伝え合うための「話すこと・聞くこと」の学習指導 ア 効果的な表現に資する多種多様な教材を用い、主体的・対話的で深い学びを推進するとともに、話す力及び聞く力を高める授業の工夫・改善 イ 学習効果を高め、学習目標を達成することを目的とした ICT の活用及び効果的な言語活動の研究及び工夫・改善 (2) 主体的な学習態度を養うための学習評価の工夫・改善 ア 話す力及び聞く力を適切に評価するための観点別学習状況の評価の工夫・改善 イ 生徒が表現技能について検証し工夫・改善を図るための相互評価など、様々な評価方法についての先行事例研究と実践 ウ 指導と評価の一体化による授業改善（PDCA サイクル）		

3 研究体制



4 研究計画

(1) 研究準備（記入する場合のみ）

実施期間	取組の計画	期待される効果
4～5 月	(1) 現状把握及び課題の検証（P D C A サイクル） - 基礎力診断テスト、道教委の学力等実態調査等の結果を活用した、「話すこと・聞くこと」における生徒の言語能力育成に係る達成状況の把握 - コミュニケーションスキルの把握 - 道教委が実施する学習状況等調査を活用した生徒の国語の学習に係る意識調査 - 本校生徒が身に付けるべき資質・能力の確認 (2) 研究推進委員会及び教科部会を中心とした研究の方向性及び達成目的の提案及び全教職員との共有	○本校生徒の課題の明確化 ○研究の方向性及び達成目標の共有

(2) 研究計画

	実施時期	研究内容、研究方法、成果の公開等	期待される成果等
令和2年度 一年次	6～9月	(1) 授業の工夫・改善 - 実社会で求められる資質・能力の定着を促すための指導方法の工夫 「話すこと・聞くこと」で育成する言語能力を身に付けるための効果的な言語活動の在り方の研究 (2) 評価方法の工夫・改善 - 生徒による授業自己評価の実施及び検証 - 教員による到達度評価の実施及び検証 (3) 研究内容（前期）の検証 - 校内研修会における研究概要と成果の報告及び研究協議	○課題に対する具体的方策の実施とその内容の共有 ○授業改善による指導の改善及び改善後の成果と課題の明確化 ○検証を踏まえた新たな課題の共有及び明確化
	10～3月	(4) 現状把握及び課題の検証（P D C A サイクル） - 基礎力診断テストを活用した、「話すこと・聞くこと」における生徒の言語能力育成に係る達成状況の把握 - コミュニケーションスキルの把握 - 道教委が実施する学習状況等調査を活用した生徒に対する国語の学習に係る意識調査 - 研究推進委員会及び教科部会による課題把握 (5) 授業の工夫・改善 「話すこと・聞くこと」で育成する言語能力を身に付けるための効果的な言語活動の在り方の研究 - 外国語科・情報科と連携して、「話すこと・聞くこと」で育成する言語能力の向上を目指す授業と評価の研究 (6) 評価方法の工夫・改善 - 生徒による授業自己評価の実施及び検証 - 教員による到達度評価の実施及び検証 - 地域社会・保護者による到達度評価の実施及び検証 (7) 研究内容（後期）の検証 - 文部科学省教科調査官及び管内の教員を招いての公開授業 - 校内研修での研究成果の報告及び協議	○本校生徒の課題の明確化 ○授業改善の成果と課題の明確化 ○評価の改善の成果と課題の明確化 ○検証を踏まえた新たな課題の共有及び次年度に向けた課題の明確化
令和3年度 二年次	4～9月	(1) 現状把握及び課題の検証（P D C A サイクル） - 基礎力診断テストを活用した、「話すこと・聞くこと」における生徒の言語能力育成に係る達成状況の把握 - コミュニケーションスキルの把握 - 道教委が実施する学習状況等調査を活用した生徒の国語の学習に係る意識調査 - 研究推進委員会及び教科部会による課題把握 - 本校生徒が身に付けるべき資質・能力の確認 (2) 授業の工夫・改善 - 実社会で求められる学力の定着を促すための指導方法の工夫 「話すこと・聞くこと」で育成する言語能力を身に付けるための効果的な言語活動の在り方の研究	○本校生徒の課題の明確化 ○課題に対する具体的方策の実施とその内容の共有

